

平成 30 年度 第 2 回 防衛医科大学校病院医療安全監査委員会議事要旨

1. 日時：平成 31 年 1 月 23 日（水）16：00～17：15
2. 場所：防衛医科大学校病院西棟 2 階実習室（スキルトレーニング）
3. 司会：澤田喜代子
4. 外部監査委員（出席者）

委員長 齊藤 祐次	所沢薬剤師会顧問
委員 大館 千歳	国立障害者リハビリテーションセンター看護部長
島戸 圭輔	二番町法律事務所（弁護士）
奈良 信和	自治体職員
根本 孝一	永仁会入間ハート病院副院長

5. 出席者

病院長	浅野 友彦
医療安全担当副院長	川名 明彦
医療安全・感染対策部部长	辻本 広紀
医療安全推進室室長	医師（GRM） 高畑 りさ
医療安全推進室副室長	看護師（GRM） 澤田 喜代子
医療安全推進室室員	医師 藤井 博子
	看護師（GRM） 根本 ゆき
	薬剤師（GRM） 奥富 秀典
医薬品安全管理責任者	薬剤部長 小杉 隆祥
医療機器安全管理責任者	材料部副部长 零石 正明
運営企画課課長	事務官 大久保 進

6. 病院長挨拶

7. 医療安全管理担当副院長挨拶

8. 監査

議事進行： 齊藤 祐次 委員長

監査項目

1) 平成 30 年度特定機能病院間相互のピアレビューの結果報告

高畑室長がスライドと資料に沿って、平成 30 年度特定機能病院間相互のピアレビューの結果報告を行った。ピアレビューの講評の中で①「放射線読影・病理レポートは現在のリソースの中で可能な手段が取られている」②「医学生に対する卒前教育の検討が必要」③「高難度新規医療技術において全国的な課題であるが本来申請されるべき事例が適切になされているかを確認するシステムが必要」の 3 項目を中心に今後の対応や改善策について監査を受けた。

今後の対応は、①の放射線読影・病理レポートについては、電子カルテ上において未読・既読の管理ができるよう 2 年後のシステム換装に合わせて準備をしている。②の医学生に対する医療安全の卒前教育については、カリキュラム委員会において検討して頂くよう教務課に要請している。③の高難度新規医療技術については個々の技術に因ることが多い等の理由でシステムでの管理は困難であるため、合併症の発症頻度など診療科等の動向を

注視しモニタリングする。以上3項の対応や改善策を監査委員に確認して頂いた。

2) 平成30年度医療法第25条第3項の規定に基づく立ち入り検査の結果報告

高畑室長がスライドと資料に沿って平成30年度医療法第25条第3項の規定に基づく立ち入り検査の結果報告を行った。当院の臨床工学技士の人数は、同等の医療機関に比べて少なく、また求められる業務の増加から安全上、早急にあらゆる手段を駆使して、増員をすよう昨年と同様の要望があった。

3) 平成30年度第1回外部監査指摘事項、インフォームドコンセント（IC）時のマニュアルの整備について

高畑室長がスライドと資料に沿って平成30年度第1回外部監査指摘事項に対する対応、IC時のマニュアルの整備について説明を行った。マニュアルの改訂については一定の成果があった。しかし、医師の仕事量の増加を心配し、働き方を配慮した工夫やマンパワーの充実を図るよう要望があった。

9. その他

●次年度医療安全監査委員会について

今年度の各委員に、次年度の医療安全監査委員継続の意思を確認し、委員全員より承諾が得られたため、現委員全員が次年度も継続となった。

10. 閉会